

1. ルート証明書インストール作業 (1/3)

SSBでは、証明書にインターネット上の既知の（信頼できる）認証局（CA = Certification Authority）による署名がありません。ユーザがPOP3Sでメールを受信するたびに、ブラウザまたはメールクライアントに証明書の警告が表示されます。この警告が表示されないようにするには、自己署名ルート証明書をWebサイトよりダウンロードしてブラウザにインストールする必要があります。

オフィス光ソリューションサイト下段の「お知らせ」欄のリンクより、ルート証明書をダウンロードします。

オフィス光ソリューション

URL:<https://flets-w.com/solution/>

UTM裏面のシールの記載内容をご確認いただき、機器に対応する証明書をダウンロードしてください。

ssb5 10 30 VPN Signing CA.crt

- Biz Box UTM「SSB」 「5」
- Biz Box UTM「SSB」 「10」
- Biz Box UTM「SSB」 「30」

ssb20 80 VPN Signing CA.crt

- Biz Box UTM「SSB」 「20」 (Biz Box UTM「SSB Standard」)
- Biz Box UTM「SSB」 「80」 (Biz Box UTM「SSB Professional」)

OutlookおよびThunderbirdへのルート証明書のインストール手順を次ページ以降に記載します。

1. ルート証明書インストール作業 (2/3)

【Outlookの場合】

※下記手順はクライアント端末での作業となります。

- ① ダウンロードした「VPN Signing CA.crt」をダブルクリックします。「セキュリティの警告」が表示された場合は、「開く」をクリックします。
- ② 「証明書」ダイアログボックスが開くので、「証明書のインストール」をクリックします。

SSB20、SSB80では下記の表示となります。



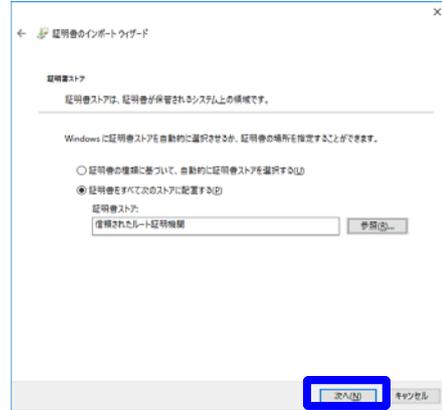
SSB5、SSB10、SSB30では下記の表示となります。



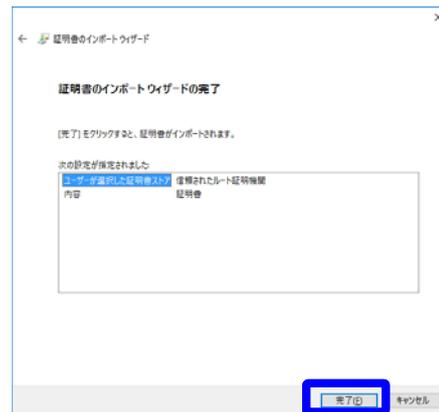
- ③ 「ローカルコンピュータ」を選択後、「次へ」をクリックします。「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示された場合は「はい」をクリックします。



- ④ 「証明書をすべて次のストアへ配置する」を選び、「参照」をクリックします。「信頼されたルート証明機関」を選択し、「OK」をクリックします。「次へ」をクリックします。



- ⑤ 「完了」をクリックして「証明書のインポートウィザード」を閉じます。「セキュリティの警告」が表示された場合は、「開く」をクリックします。「正しくインポートされました」と表示されたら、インポートの完了です。

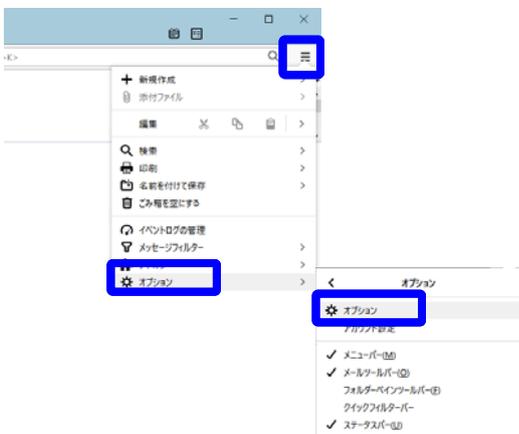


1. ルート証明書インストール作業 (3/3)

【Thunderbird (Windows, Mac) の場合】

※下記手順はクライアント端末での作業となります。

- ① Thunderbirdを起動し、ツールバーの一番右にあるメニューをクリックして、「オプション」をクリックし、展開されたメニューで再度「オプション」をクリックします。
※Macの場合は「オプション」ではなく「設定」という表記になります。



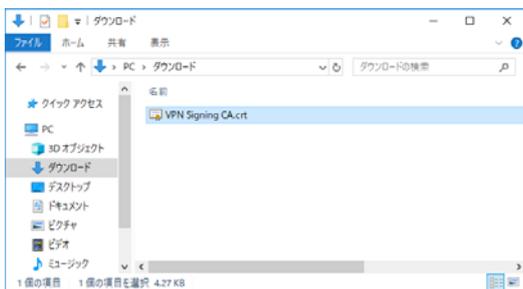
- ② 「詳細」→「証明書」の順にクリックし、「証明書を管理」をクリックします。



- ③ 「証明書マネージャ」が開くので、「認証局証明書」が選択されている事を確認し、「インポート」をクリックします。
※Macの場合は「インポート」ではなく「読み込む」という表記になります。

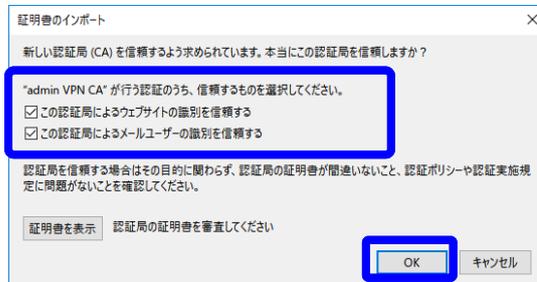


- ④ 証明書ファイルをダブルクリックします。

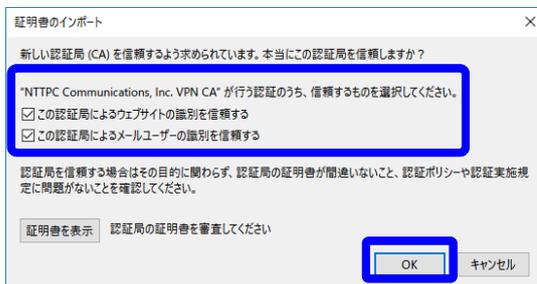


- ⑤ 「証明書のインポート」ダイアログボックスが開いたら、チェックボックスすべてにチェックを入れ、「OK」をクリックします。

SSB20, SSB80では下記の表示となります。



SSB5, SSB10, SSB80では下記の画面となります。



- ⑥ 「証明書マネージャ」に戻り、青枠内の内容が追加されていれば、インポートの完了です。

SSB20, SSB80では下記の表示をご確認ください。



SSB5, SSB10, SSB80では下記の表示をご確認ください。

